

## 和牛産肉能力間接検定成績

金城寛信 比嘉直志\* 玉城政信

### I 諸 言

当场では、1983年度（昭和58年度）より種雄牛の遺伝的能力を判定し、産肉性の向上、肉質の改良を行う目的で和牛産肉能力検定（間接法）を実施している。そこで、1995年度（平成7年度）に終了した3頭の種雄牛について、その成績を報告する。

### II 検定牛及び検定方法

検定した種雄牛は、県外から導入した安広土井、幸鶴土井および肉用牛群改良基地育成事業により本県で生産した安森2の3頭で、その概要は表-1のとおりである。

検定期間は、安広土井が1994年12月2日から1995年12月1日、幸鶴土井が1994年12月5日から1995年12月4日、安森2が1995年1月27日から1996年1月26日であった。

検定方法は、全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定法<sup>1)</sup>（間接法）により実施した。間接法は、検定する種雄牛についてその産子（去勢牛）を364日間肥育し、その間の増体量、飼料要求率および肉質等を調査するもので、今回は安広土井10頭、幸鶴土井10頭、安森2は9頭の調査牛を用いた。

表-1 検定種雄牛の概要

	名 号	安広土井	幸鶴土井	安 森 2
	登 録 番 号	原 2497	原 2496	原 2497
	生 年 月 日	'91.2.20	'91.5.8	'91.2.12
	審 査 得 点	84.1	82.91	84.3
	産 地	兵 庫 県	兵 庫 県	平 良 市
血 統	父	安美土井	第2安鶴土井	安森土井
	母	さちふく1の1	ゆきひめ	ちよひさ
	父方祖父	菊森土井	菊茂土井	第3菊
	母方祖父	茅菊波	安美土井	第5中原
体型測定値	体 高 (cm)	144.0	144.0	139.5
	体 長 (cm)	175.0	169.0	167.0
	胸 囲 (cm)	214.0	213.0	206.0
	胸 深 (cm)	76.0	80.0	78.0
	尻 長 (cm)	57.0	59.0	57.0
	かん幅 (cm)	46.0	48.0	46.0
	体 重 (kg)	665.0	665.0	750.0
	検定終了年月日	'95.12.1	'95.12.4	'96.1.26

注) 体型測定値は検定終了日の値である。

## Ⅲ 検 定 成 績

検定成績は表-2のとおりである。

表-2 検定成績(検定材料牛の平均値)

名 号		安広土井	幸鶴土井	安森 2	全国平均 (1993)
開 始 時 日	齢 (日)	274.0	246.2	267.0	262.1
体 重	開 始 時 (kg)	236.3	208.3	214.0	—
	終 了 時 (kg)	588.6	505.3	536.9	584.0
1 日 増 体 量	期 間 (kg)	0.91	0.82	0.89	0.89
終 了 時 の 体 型 測 定 値	体 高 (cm)	135.7	131.4	131.2	—
	胸 深 (cm)	72.2	68.7	69.8	—
	か ん 幅 (cm)	46.8	45.3	46.0	—
飼 料 摂 取 量 (原 物)	濃 厚 飼 料 (kg)	2500	2206	2442	2519
	稲 ワ ラ (kg)	244	217	257	—
	乾 草 (kg)	524	484	405	—
	粗 飼 料 計 (kg)	768	701	662	675
粗 飼 料	摂 取 率 (%)	23.5	24.1	21.3	21.1
飼 料 要 求 率	濃 厚 飼 料	7.53	7.43	7.56	—
	粗 飼 料	2.31	2.36	2.05	—
	DCP	0.84	0.83	0.83	—
	TDN	6.37	6.31	6.28	6.65
枝 肉 成 績	枝 肉 重 量 (kg)	340.1	293.3	326.0	353
	ロ ー ス 芯 面 積 (cm <sup>2</sup> )	43.1	43.0	45.3	45
	バ ラ の 厚 さ (cm)	6.1	5.0	5.9	—
	皮 下 脂 肪 厚 (cm)	1.6	1.1	1.5	2.0
	歩 留 基 準 値 (%)	73.3	73.6	73.9	73.3
	筋 間 脂 肪 (cm)	5.7	4.6	5.9	5.5
	脂 肪 交 雑 (BMS)	2.0	1.7	2.2	2.1

## 1. 増体成績

全期間の1日増体量(DG)は、安広土井が0.91kg、安森2が0.89kg、幸鶴土井0.82kgであった。

安広土井は1993年度(平成5年度)の全国平均<sup>2)</sup>のDG0.89kgに比べて0.02kg優れており、安森2は同じ値で、幸鶴土井は0.07kg劣っていた。

## 2. 飼料要求率

飼料要求率(TDN)は安森2が6.28、幸鶴土井6.31、安広土井が6.37で3頭とも全国平均の6.65より優れていた。

## 3. 枝肉成績

枝肉重量は、安広土井が340.1kg、安森2が326.0kg、幸鶴土井293.3kgで全国平均の345kgより軽かった。

ロース芯面積は、安森2が45.3cm<sup>2</sup>、安広土井43.1cm<sup>2</sup>および幸鶴土井が43.0cm<sup>2</sup>と全国平均の46cm<sup>2</sup>より小さかった。

脂肪交雑(BMS)については、安森2が2.2と全国平均の2.1より高く、安広土井2.0、幸鶴土井1.7は全国平均より低かった。

バラの厚さは、安広土井6.1、安森2が5.9、幸鶴土井5.0cmであった。

皮下脂肪厚は、幸鶴土井が1.1cm、安森2が1.5cm、安広土井1.6cmと3頭とも全国平均2.0cmより薄かった。

筋間脂肪は、安森2が5.9、安広土井5.7cmであり全国平均の5.5cmより厚く、幸鶴土井の4.6cmは全国平均より薄かった。

---

歩留基準値は、安森2が73.9%、幸鶴土井73.6%が全国平均の73.3%より高く、安広土井は全国平均と同じ値であった。

#### IV 引用文献

- 1) 全国和牛登録協会、1993、和牛登録事務必携
- 2) 全国和牛登録協会、1995、和牛種雄牛産肉能力検定成績、3

---

検定補助：小浜健徳